

全国瞬時警報システム（J・アラート）が作動した際の対応について

平素は、本校教育にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

みだしの「全国瞬時警報システム（J・アラート）」につきましては、報道等でもすでに周知されております。

万一の事態を想定し、児童（生徒・幼児）の安全確保ができるように、基本的な対応を下記のとおりとします。様々な場面が想定されますので、保護者の皆様におかれましても、児童（生徒・幼児）の安全が確保できますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

発達段階に応じて、次のとおり、周知資料をもとに安全指導を行ないます。登下校中をはじめ、屋外にいる場合は、警報の情報を得られなかったり、対応に困ったりすることも想定されます。万一の場合、災害時への対応とあわせまして、安全確保のため、様々な場面で、保護者の皆様、地域の皆様ご協力をよろしくお願いいたします。

- (1)登校前 (警報が作動し、安全が確認できない状況の場合)
安全を確保して「自宅待機」 安全確認の連絡後、登校
- (2)在校中
教職員が警備防災マニュアルに基づき、避難誘導を行い、幼児児童生徒の安全を確保する。
(屋内・校舎内) できるだけ窓から離れる。(できれば窓のない部屋に避難)
(屋外・校舎外) 頑丈な建物に避難する。
(校内：校舎・体育館等、校外：引率教員が適宜誘導)
※頑丈な建物（地下）へ移動できない場合は、
物陰に身を隠すか、地面に伏せ、頭部を守る。
- (3)登下校中
可能な限り複数で、各自、上記「校舎外」の対応で安全を確保する。
- (4)下校後
上記「屋内（校舎内）」「屋外（校舎外）」の対応を各自で行う。
日頃から、家族等で対応について、話し合いをしておく。

《参考資料》内閣官房 国民保護ポータルサイト

<http://www.kokuminhogo.go.jp/>

※基本的な対応方針は、別添の県対応方針に準ずる。

◆留意事項 冷静に落ち着いて行動する。

正しい情報をもとに、可能な限り複数で対応する。